

◇地域公共交通の概況

1. 県全体

【地域公共交通の概況におけるまとめ】

■広域的な公共交通の運行状況

本県には、超広域的な移動を担う新幹線である東北新幹線が運行しており、主に仙台駅（県庁所在地で主要ターミナル）、古川駅、白石蔵王駅、くりこま高原駅が主要な交通拠点として機能している。それ以外にも県内および県外を結ぶ広域的な移動手段として鉄道があり、JR、仙台市営地下鉄、仙台空港アクセス線、阿武隈急行線などが運行している。

加えて、広域的な移動手段として路線バスが運行しており、中でも複数の市町村にまたがり、中心都市と周辺市町村を結ぶバス路線などの地域間交通ネットワークとして位置づけられるものの、利用者の運賃収入だけでは維持が難しい一部の路線に対して国や県の補助を受けて運行する地域間幹線システムが15系統存在している。

なお、上記以外にも、交通事業者が運行する路線バスや高速バスなども運行している。

■広域的な公共交通の利用状況

本県の公共交通の輸送人員は東北6県の中では比較的高い数値で推移しているものの、広域路線バスの地域間幹線システムの補助基準である輸送量と平均乗車密度の達成に向けては厳しい状況となっている。

1日平均の輸送人数を指す輸送量は1日15人以上とする基準が国から示されているが、令和8年度計画では15系統中5系統が基準を下回っている。さらに1便あたりの平均乗車人数を指す平均乗車密度は15系統中12系統が基準を下回っており、密度カット（国庫補助の減額補正）の対象となっている。

(1)運行状況

本県では、地域間幹線系統（国庫補助路線）15系統のほか、補助を受けていない広域路線バスが運行している。鉄道は東北新幹線をはじめ、JR東北本線、BRTなどの17路線が運行している。

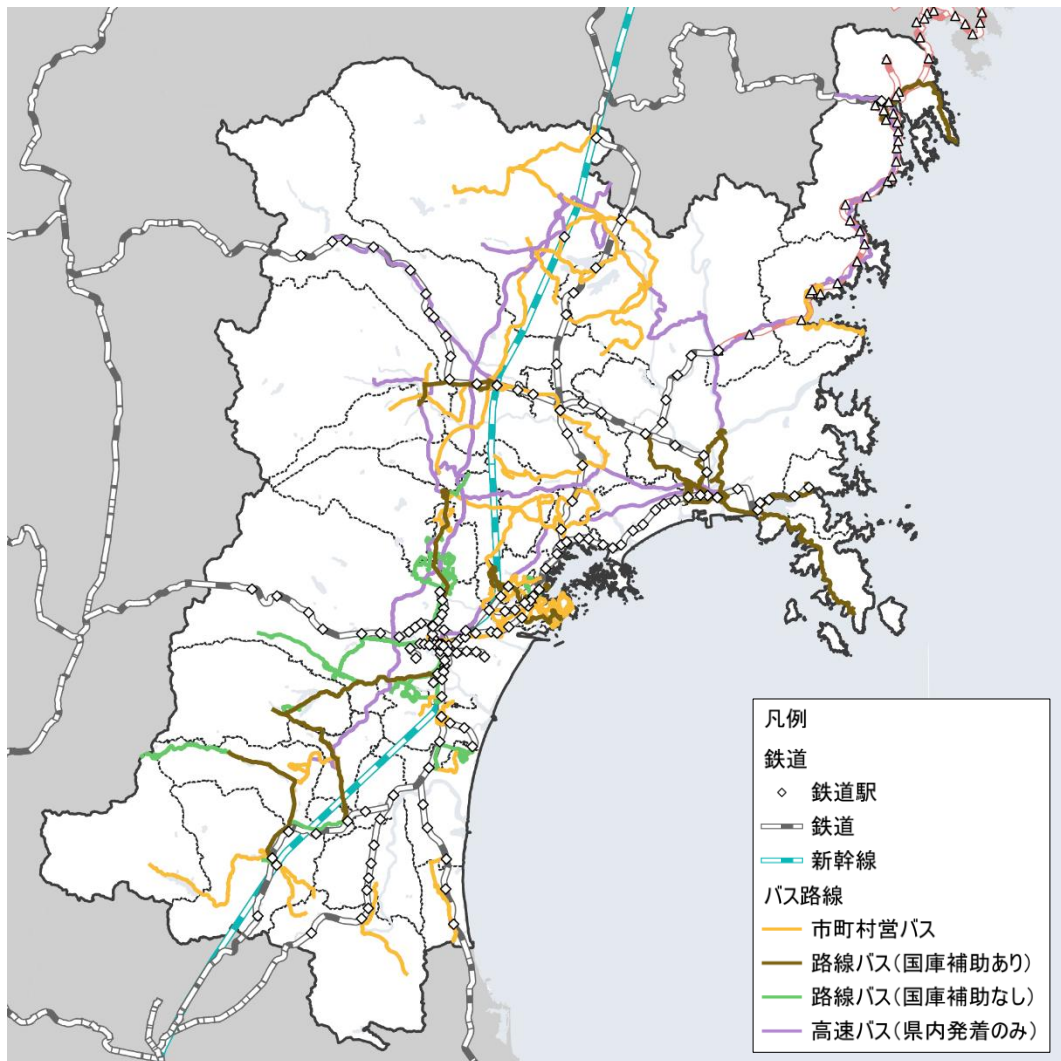


図 公共交通の運行状況(宮城県)

※令和8年4月1日現在

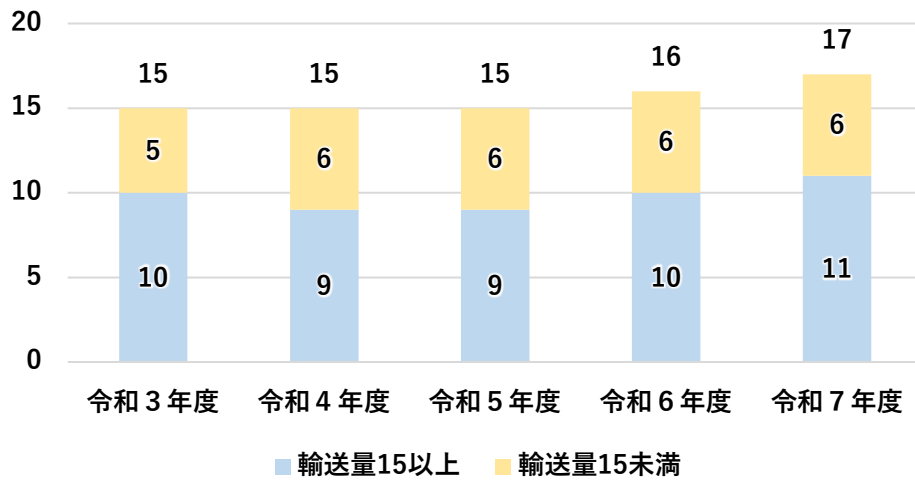


図 地域間幹線系統の推移

出典：交通事業者輸送実績資料（令和3年～令和5年）
 運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和6年～令和7年）

表 地域間幹線系統一覧(令和6年10月から令和7年9月運行実績)

番号	圏域	事業者名	路線名	起点	経由地	終点	実車走行キロ (km)	運行回数 (回/日)	平均乗車密度	輸送量
1	仙南圏域	ミヤコーバス	白石遠刈田	白石蔵王駅前	永野	AR宮城蔵王	156,168.0	8.6	3.0	25.8
2	仙南圏域	ミヤコーバス	川崎	大河原駅前	村田営業所	川崎	57,528.0	3.3	2.6	8.5
3	仙南圏域	ミヤコーバス	川崎	大河原駅前	沼辺	村田営業所	25,017.0	3.5	4.9	17.1
4	仙台圏域	ミヤコーバス	利府	塩釜営業所	利府高校前	しらかし台	116,744.0	10.3	5.0	51.5
5	仙台圏域	ミヤコーバス	汐見台団地	多賀城駅	大代	菖蒲田	67,680.0	10.3	5.7	58.7
6	仙台圏域	ミヤコーバス	吉岡	泉中央駅	あけの平	道下	190,674.0	14.3	6.9	98.6
7	大崎・栗原圏域	ミヤコーバス	色麻	古川駅前	塚の目	色麻町役場	123,593.0	11.2	3.5	39.2
8	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	石巻免許センター	石巻駅前	あゆみ野駅	日赤病院	98,119.0	10.2	3.2	32.6
9	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	河南	石巻駅前	傘松	河南総合支所	68,695.2	4.6	2.6	11.9
10	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	石巻専修大学	石巻駅前	開北橋	飯野川	64,982.0	5.8	3.0	17.4
11	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	河北	石巻あゆみ野駅	鹿又駅	飯野川	87,362.0	6.9	1.6	11.0
12	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	鮎川	石巻駅前	筒場	鮎川港	140,656.7	5.6	1.5	8.4
13	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	女川	石巻駅前	筒場	女川運動公園	57,516.9	4.3	3.0	13.0
14	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	御崎	気仙沼市立病院	津本	御崎	113,136.8	6.8	2.0	13.6
15	仙台圏域、 仙南圏域	宮城交通	秋保(川崎)	仙台駅前	茂庭	川崎	77,310.5	3.3	7.3	24.0
16	仙台圏域	ミヤコーバス	ゴルフ場	マリゲート塩釜	ゴルフ場	千賀の台西	28,013.5	5.8	3.2	18.5
17	石巻・登米・ 気仙沼圏域	ミヤコーバス	蛇田	石巻駅前	蛇田	石巻あゆみ野駅南	74,387.4	9.2	2.5	23.0

出典：運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和7年）

※ゴルフ場線及び蛇田線は、令和8年3月14日から補助対象外（蛇田線は廃止）

※汐見台団地線は、令和6年10月から補助対象

(2)地域間幹線系統

本県の地域間幹線系統 15 系統のうち、令和 8 年度計画では 5 系統が輸送量 15.0 を下回っている。

また、12 系統が平均乗車密度 5.0 を下回っており、密度カット（国庫補助の減額補正）の対象となっている。

なお、「地域公共交通利便増進実施計画」の認定に伴う利便増進特例が適用される路線はない。

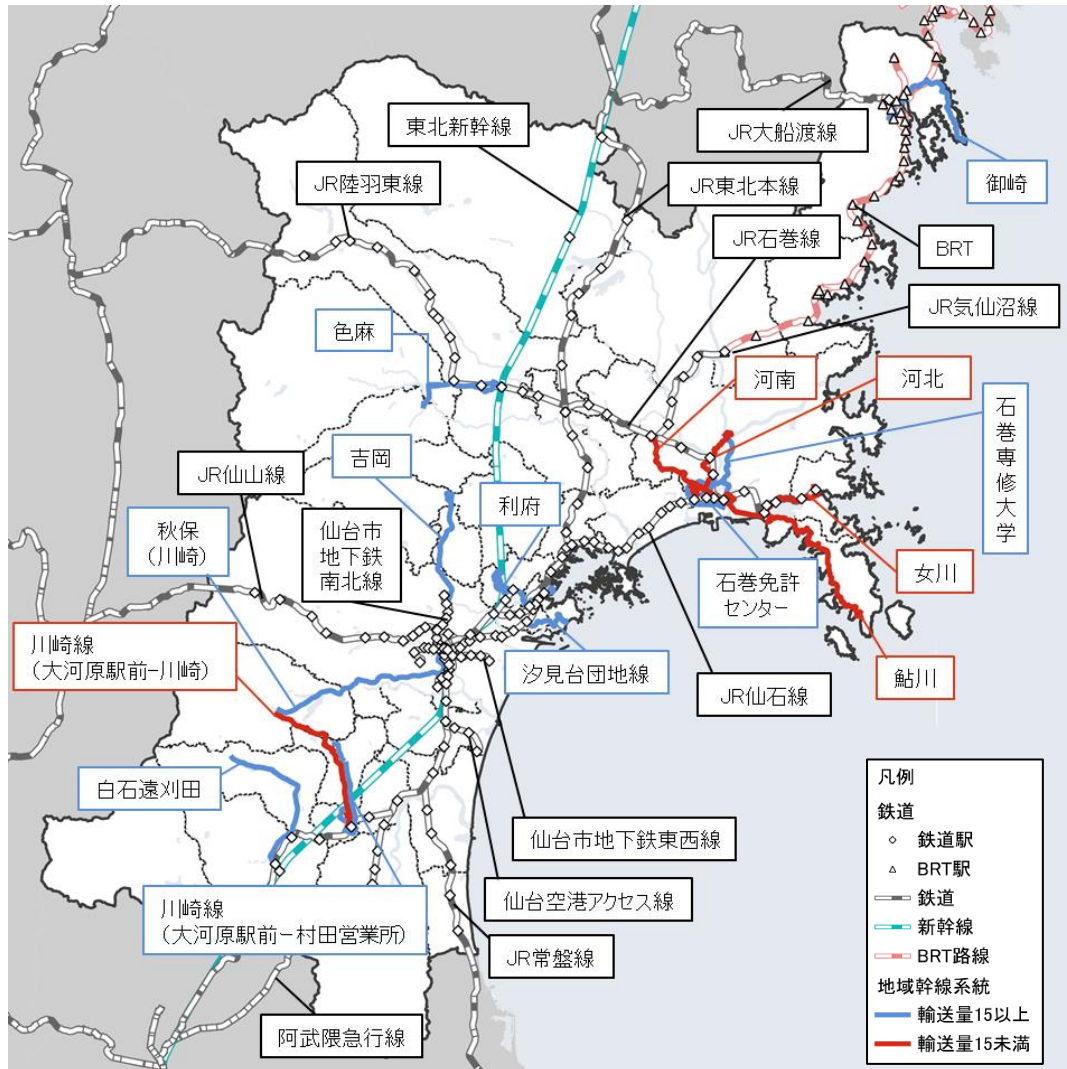


図 地域間幹線系統の運行状況(宮城県)

※令和 8 年 4 月 1 日現在

(3) 輸送人員の推移

本県の乗合バス、鉄道、高速バスの輸送人員の推移では、それぞれ、令和元年度から令和2年度にかけては減少したものの、以降は増加に転じている。乗合バスと高速バスの輸送人員に関しては東北地方の中で、最も高い値で推移している。

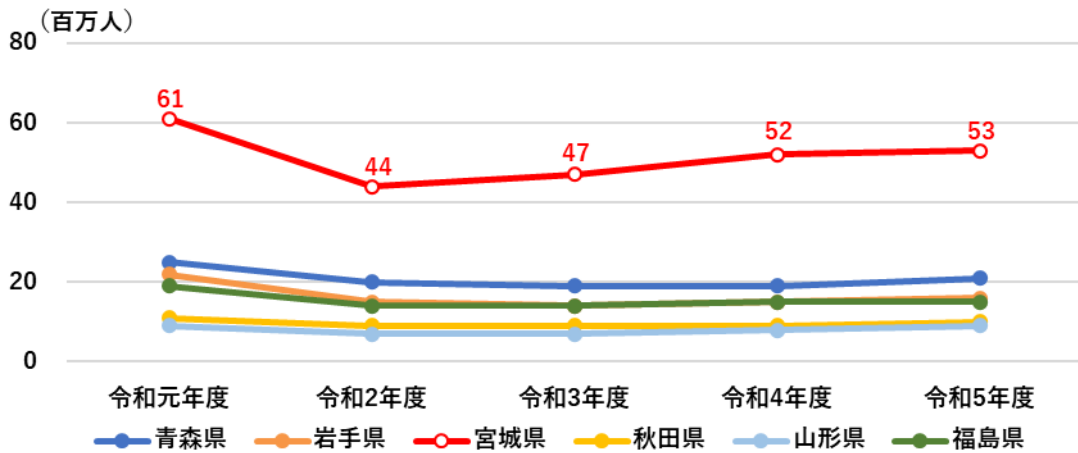


図 乗合バスの輸送人員の推移(東北6県の比較)

出典：東北運輸局 HP

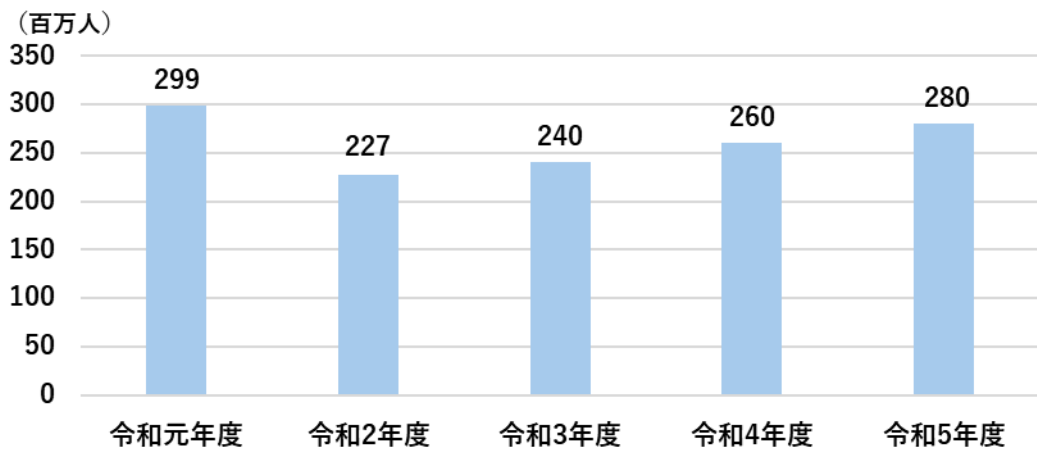


図 鉄道旅客輸送人員の推移

※数値は東北管内の JR、民鉄、仙台市営地下鉄の合計

出典：東北運輸局 HP

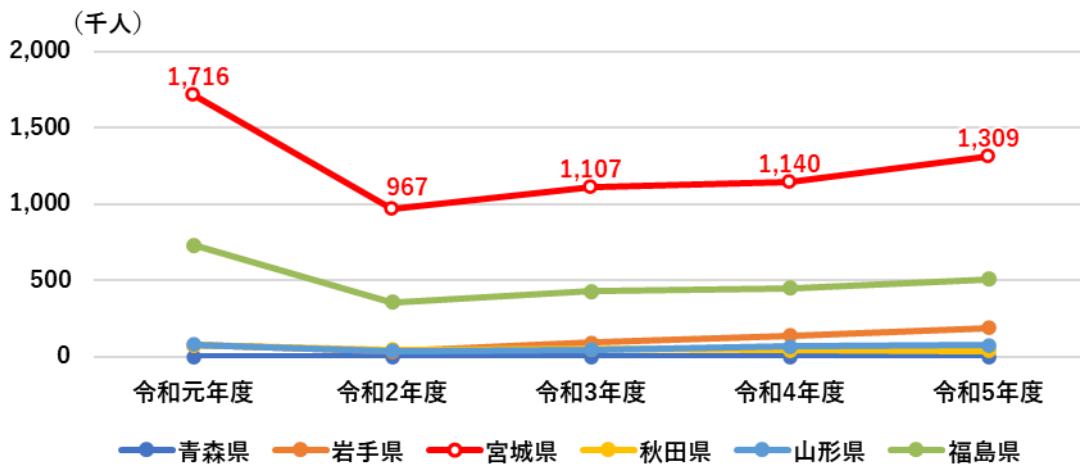


図 高速バス輸送人員の推移(東北6県の比較)

出典：東北運輸局 HP